

早稲田大学グローバルヘルス研究所シンポジウム

「日本とアメリカにおける性と生殖に関する健康と権利（SRHR）」

【プログラム】

#SRHR

開会の挨拶：棟居徳子（早稲田大学教授）

報告 1

「Sexual and Reproductive Health and Rights in the United States: History, Recent Changes, and Impact of the US Presidential Election」

Dean Harris（元ノースカロライナ大学准教授）

報告 2

「Reproductive Rights and Japan's Eugenic Protection Law」

豊田真穂（早稲田大学教授）

日 時：2024年12月18日（水）

17:00～18:40（16:45開場）

場 所：早稲田キャンパス11号館
606号室

主 催：早稲田大学グローバルヘルス研究所

後 援：早稲田大学総合研究機構

対 象：早稲田大学の学生・教職員

* 事前申込不要（当日直接会場まで
お越しください）

使用言語：英語

指定討論&質問応答

勝間靖（早稲田大学教授）

許瀚文（早稲田大学修士一年生）

閉会の挨拶：勝間靖（早稲田大学教授）

【開催趣旨】2024年は、日本とアメリカの性と生殖に関する健康と権利（SRHR）にとって重要な転換点となる年です。日本では、2024年7月に最高裁判所が、障害のある人などに対する不妊手術を定めた旧優生保護法の規定が憲法違反であると判断しました。しかし、日本においては、SRHRに関して依然として多くの課題が残っています。一方、アメリカでは、中絶の権利に関する議論が大統領選挙の主要な争点の一つであり、2024年11月に行われた大統領選挙がSRHRに及ぼす影響について懸念が広がっています。本シンポジウムでは、日本とアメリカにおけるSRHRの現状を取り巻く課題と将来の展望について議論します。